



愛知県加茂家畜保健衛生所
企画調整担当 北村恵理



○職場の紹介

家畜保健衛生所では、家畜の疾病の防除が主な仕事です。疾病の定期検査や農家で発生した病気の診断、安全な食品を生み出すためにも必要な衛生管理方法に関する技術的な支援をします。加えて、動物用医薬品の取り扱いや、犬猫病院等の診療施設に関する業務を行っています。

そして近年、農家と直に接する機会の多い私たちには、畜産環境問題への取り組みが重要な位置を占めつつあります。ふん尿処理に関する法律の施行後、愛知県では従来の指導に加えて取締の部分をも家畜保健衛生所が担うことになったので、その重要度は高まっています。

○担当分野の紹介

職場では担当が3つに分かれており、私は企画調整担当です。経験豊富な専門員の方と2人で仕事を進めます。業務の割り振りを行う他、動物用医薬品や診療施設に関する業務、他の担当にあてはまらない諸々の仕事を受け持ちます。そして、以前から水質検査を担当していた経緯から、環境問題に力を入れて取り組んでいます。ハエ、悪臭、浄化槽管理、堆肥化等々、それぞれの問題の対応に努めています。

○現実の辛さ・難しさ

管内では都市化が進み、農家の方々は環境問題に四苦八苦ししています。立地条件、経営状態、労働力、後継者問題等々、それぞれにいろいろな事情を抱えています。

浄化槽や堆肥舎などの話をするために農家を訪ねる際、アドバイザー研修で学んだ基礎を心に携えていくものの、農家さん一人を目の前にそれぞれの事情を耳にすると、“うーん”とうなってしまうことが多々あります。住宅に囲まれていては、攪拌することで臭いが出る堆肥舎がなかなか造れない、といった話が出ます。歯がゆいことに、真面目に環境問題に取り組んでいる農家が、かえって環境問題に悩まされるという状況にもしばしば出くわします。

○大切な連携

そうはいつでも、何とか前に進みたい。とても時間はかかりますが、一つ一つ問題点を消していけるよう活動を続けています。

その際、ふん尿処理技術の基本をはずれないよう、いかにその農家の事情を組み入れていくかが悩むところです。環境アドバイザーの腕の見せどころといきたいところですが、まだまだ私は修行が足りません。周囲の経験豊富な方々の力をお借りしています。

しかし、私自身、県内や全国のネットワークを十分に生かし切れているとはいえません。もっと、公務員や民間、それも畜産関係者にとどまらず、他の分野の人たちとの連携があってもいいと思います。お互いを補いあったり、発想の転換をするのに、いい刺激になると思います。

そして何よりも、普段から農家の方々と接していることが大事だと感じます。決して農家を苦しめているのではないことを納得してもらい、うち解けて話し合える環境づくりが大切です。

○これはチャンスか？

「環境ブームはビジネスチャンスだ」と言った人がいます。「リサイクルの原点は畜産業だ」とも。それも養豚農家さんの声です。現実を見聞きするにつけ暗く沈みがちな心に、一点の明るさを与えてくれる言葉でした。「ふん尿処理は、汚い、やっかい、儲からない」と敬遠するのではなく、重くながちな気持ちを前向きにして、「俺達が原点だ」と誇りを持って農家の方々には取り組んで欲しいと願っています。そして、そう思ってもらう手助けをするのが私たちの仕事なのだと感じています。つい、この気持ちを忘れがちなのですが、勧める側が希望を持たないでは、やる側の農家さんが納得してくれるはずもありません。そう自分にも言い聞かせながら、「チャンス」の輪を広げていきたいと思っています。